

国語	現代の国語	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	読解の基礎	文章の読み方について	通信制教室	教科書・ノート・パソコン
第2回	語彙力向上	語彙力を上げるための演習	通信制教室	教科書・ノート・パソコン

国語	言語文化	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	古文文法	現代仮名遣い、古文常識、書き下し文等のルールを確認する	通信制教室	教科書・ノート・パソコン
第2回	古典に触れる	伊勢物語、平家物語、故事成語、論語などを読む	通信制教室	教科書・ノート・パソコン

国語	論理国語(前期)	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	主張と根拠	筆者の言いたいことを探る	通信制教室	教科書・ノート・パソコン
第2回	論理の繋がり	なぜそのようなことが言えるか、論理の流れをたどる	通信制教室	教科書・ノート・パソコン

国語	論理国語(後期)	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	批判的に読む	ほんとうにそんなことが言えるか、批判的思考を身に着ける	通信制教室	教科書・ノート・パソコン
第2回	論理的な文章	相手に伝わるような文章を書く練習をする	通信制教室	教科書・ノート・パソコン

国語	古典探究(前期)	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	古文文法	現代仮名遣い、古文常識、書き下し文等のルールを確認する	通信制教室	教科書・ノート・パソコン
第2回	古典に触れる	十訓抄、枕草子、竹取物語、源氏物語を読む	通信制教室	教科書・ノート・パソコン

国語	古典探究(後期)	科目の目標		
担当者		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	古文文法	現代仮名遣い、古典常識、書き下し文の説明	通信制教室	教科書・ノート・レポート・動画視聴できるもの
第2回	古典に触れる	小話、史記、十八史略を読む	通信制教室	教科書・ノート・レポート・動画視聴できるもの

地理歴史	地理総合	科目の目標		
担当者		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	私たちが暮らす世界・地図や地理情報システムの役割・資料から読み取る世界	通信制教室	教科書
第2回	国際理解と国際協力	人々の生活文化と多様な地理的環境・さまざまな地球的課題と国際協力	通信制教室	教科書

地理歴史	歴史総合	科目の目標		
担当者		グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・近現代の歴史について、世界と日本を広い視野から捉え、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色について多角的・多面的に考察したり、歴史に見られる課題を議論できる力を養う。 ・近現代の歴史を学び、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを学ぶ。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
週	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	歴史の扉・近代化と私たち	日本の近代化・開国について、世界との結びつきについて学ぶ	通信制教室	教科書
第2回	国際秩序の変化・グローバル化と私たち	第一次・第二次世界大戦、民族紛争について・冷戦と世界経済について学ぶ	通信制教室	教科書

地理歴史	地理探究	科目の目標		
担当者		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。 世界の諸地域の地域的特色や課題を理解するとともに地図や地理情報システムなどを活用して、調査や諸資料から地域に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		
単位数	3単位			
スクーリング数	3回			
レポート数	9回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	現代世界の系統地理的考察	自然環境	通信制教室	教科書
第2回	現代世界の系統地理的考察	産業と資源、交通・通信・貿易・観光、人口、村落、都市	通信制教室	教科書
第3回	現代世界の地誌的考察	現代世界の諸地域	通信制教室	教科書

地理歴史	日本史探究	科目の目標		
担当者		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及・解決する活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
単位数	3単位			
スクーリング数	3回			
レポート数	9回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	原始・古代の日本と東アジア中世の日本と世界	古代・中世の日本と東アジアの関係に学ぶ	通信制教室	教科書
第2回	中世の日本と世界近世の日本と世界	中世・近世の日本と世界関係に学ぶ	通信制教室	教科書
第3回	近現代の地域・日本と世界	開国から21世紀までの日本と世界の関係について学ぶ	通信制教室	教科書

公民	公共	科目の目標		
担当者		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	公共のとびら	社会のなかの自己～共に生きるための倫理～私たちの民主的な社会	通信制教室	教科書
第2回	持続可能な社会づくりに参画するために	身近な社会問題について探究活動を行う	通信制教室	教科書

公民	政治・経済	科目の目標		
担当者		社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及・解決する活動を通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	現代日本の政治と経済	日本の政治と経済について学ぶ	通信制教室	教科書
第2回	グローバル化する国際社会	国際政治と経済について学ぶ	通信制教室	教科書

数学	数学 I	科目の目標		
担当者		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学的に活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表現する力を養う。		
単位数	3単位			
スクーリング数	3回			
レポート数	9回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	ガイダンス兼簡易実験	スクーリングおよびレポートについての説明、数学実験	通信制教室	筆記用具
第2回	2次関数	2次関数の頂点を求められるようにする	通信制教室	筆記用具
第3回	集合と命題	必要条件、十分条件を理解する	通信制教室	筆記用具

数学	数学A	科目の目標		
担当者		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学的に活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表現する力を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	2回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	場合の数・確率	身の周りにあふれる確率に触れる	通信制教室	筆記用具
第2回	図形の性質	図形の性質について触れる	通信制教室	筆記用具

理科	科学と人間生活	科目の目標		
担当者		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。(2)観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。(3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		
単位数	2単位			
スクーリング数	8回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	準備・場所	持ち物
第1回	微生物とその利用	さまざまな微生物、私たちの暮らしへの微生物の利用	通信制教室	教科書
第2回	ヒトの生命現象	ヒトの視覚と光による影響、血糖濃度を調節するしくみ、体を守るしくみ、遺伝子のはたらき	通信制教室	教科書
第3回	材料とその再利用	リサイクルとは何か、金属の性質とその利用、プラスチックの性質とその利用	通信制教室	教科書
第4回	衣料と食品	衣料の科学、食品の科学	通信制教室	教科書
第5回	実験	物理・化学・生物・地学の基本となるような実験全般	理科室	教科書
第6回	光の性質とその利用	光の進み方とその基本的な性質、目に見える光と色の見え方、目に見えない光とその利用	通信制教室	教科書
第7回	熱の性質とその利用	熱とは何か、エネルギー利用と私たちの暮らし	通信制教室	教科書
第8回	科学と人間生活	科学と人間生活の関わり合いについて学ぶ	通信制教室	教科書

理科	生物基礎	科目の目標		
担当者		生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	8回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	生物の特徴	生物に共通する性質や多様性を学ぶ	通信制教室	教科書
第2回	遺伝子とそのはたらき	遺伝の仕組みやDNAの構造を学ぶ	通信制教室	教科書
第3回	ヒトの体の調整	恒常性と神経系・内分泌系について学ぶ	通信制教室	教科書
第4回	免疫のはたらき	免疫について学ぶ	通信制教室	教科書
第5回	生物の多様性と生態系	植生と生態系について学ぶ	通信制教室	教科書
第6回	学内の生物観察①	フィールドワークにより岡山県笠岡市の生態系を観察する	学内すべて	教科書・防寒具
第7回	学内の生物観察②	雨の場合は室内で実験		
第8回	生物多様性について	生物の多様性と人との関わりについて学ぶ	通信制教室	教科書

保健体育	体育(前期)	科目の目標		
担当者		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として、捉え生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
単位数	I II : 2単位、III : 3単位			
スクーリング数	I II : 10回、III : 15回			
レポート数	I II : 2回、III : 3回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	体育のガイダンス	体育の服装・シューズ等のルール、授業への取り組み方	通信制教室	
第2回	ウォーキング	学校周辺を散策し、仲間との関係を深める	学校周辺	帽子・タオル
第3回	ストレッチ	体ほぐし運動を行う	体育館	体育館シューズ
第4回	バドミントン	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第5回	バドミントン	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第6回	卓球	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第7回	卓球	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第8回	ソフトバレーボール	ルールや基礎的な技術を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第9回	ソフトバレーボール	ルールや基礎的な技術を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第10回	スポーツ鑑賞(ビデオ)	オリンピックの映像を鑑賞し、豊かな情操を育む	通信制教室	筆記用具
第11回	スポーツ鑑賞(ビデオ)	オリンピックの映像を鑑賞し、豊かな情操を育む	通信制教室	筆記用具
集中体	ゴルフ	クラブの握り方やスイングの仕方を学ぶ	グラウンド	運動靴
集中体	ゴルフ	実際にゴルフボールを打ち、技術の向上を図る	アカセガーデンゴルフ	
集中体	ゴルフ	実際にゴルフボールを打ち、技術の向上を図る	アカセガーデンゴルフ	
集中体	ゴルフ	実際にゴルフボールを打ち、技術の向上を図る	アカセガーデンゴルフ	

保健体育	体育(後期)	科目の目標		
担当者		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として、捉え生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
単位数	I II : 2単位、III : 3単位			
スクーリング数	I II : 10回、III : 15回			
レポート数	I II : 2回、III : 3回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	体育のガイダンス	体育の服装・シューズ等のルール、レポートの取り組み方	通信制教室	
第2回	ターゲットバードゴルフ	クラブの握り方、スイングの仕方など基本動作を学ぶ	グラウンド	運動靴
第3回	ターゲットバードゴルフ	グラウンドにコースを作り、ラウンドする	グラウンド	運動靴
第4回	卓球	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第5回	卓球	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第6回	スポーツ鑑賞(ビデオ)	プロ選手の体験談から学ぶ	通信制教室	筆記用具
第7回	バドミントン	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第8回	バドミントン	ルールや基礎的な打ち方を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第9回	ソフトバレーボール	ルールや基礎的な技術を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
第10回	ソフトバレーボール	ルールや基礎的な技術を学び、簡易ゲームを行う	体育館	体育館シューズ
集中体	ボーリング	投げ方や握り方、点数の付け方など基本事項を学ぶ	アミパラボウル	別紙案内
集中体	ボーリング	ボーリングのゲームを行い、親睦を深める		
集中体	ボーリング	ボーリングのゲームを行い、親睦を深める		
集中体	ボーリング	ボーリングのゲームを行い、親睦を深める		
集中体	ウォーキング	公園周辺を散策する	倉敷みらい公園	

保健体育	保健	科目の目標		
担当者		生活習慣病、薬物乱用、精神疾患など、現代社会における多くの健康問題について理解する。時代の流れの中で、健康自体のとらえ方や健康のために個人や社会に求められることの変化に対して対応できるようにする。また、事故の現状や応急手当、心肺蘇生法についても知識を持つ。		
単位数	1単位			
スクーリング数	1回			
レポート数	3回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	現代社会と健康安全な社会生活	様々な身近な健康問題を取り上げ、健康な生活について考える	通信制教室	筆記用具レポート

外国語	英語コミュニケーションⅠ	科目の目標		
担当者		英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育み、情報や考えを的確に理解し適切に伝える基礎的な能力を養う。 日常的な話題について、聞く・読む・話す・書くの4技能を総合的に高め、自分の考えを論理的に伝えられるようにすること。		
単位数	3単位			
スクーリング数	12回			
レポート数	9回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	英語の導入	言語について・be動詞・一般動詞	通信制教室	筆記用具・教科書
第2回	Breakfast around the World	過去形について	通信制教室	筆記用具・教科書
第3回	I like Junk Food!	進行形について	通信制教室	筆記用具・教科書
第4回	A Train Driver in Sanriku	助動詞について	通信制教室	筆記用具・教科書
第5回	A Miracle Mirror	to不定詞について	通信制教室	筆記用具・教科書
第6回	Learning from the Sea	動名詞について	通信制教室	筆記用具・教科書
第7回	Funny Picture from the Edo Per	受動態について	通信制教室	筆記用具・教科書
第8回	A Diary of Hope	比較表現について	通信制教室	筆記用具・教科書
第9回	A Door to a New Life	現在完了形について	通信制教室	筆記用具・教科書
第10回	Fighting Plastic Pollution	名詞を後ろから説明する分詞について	通信制教室	筆記用具・教科書
第11回	Pigs from across the Sea	関係代名詞について	通信制教室	筆記用具・教科書
第12回	Reviewing Grammar	比較・現在完了・関係詞について	通信制教室	筆記用具・教科書

外国語	論理表現Ⅰ	科目の目標		
担当者		英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域（以下この節において「三つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の（1）及び（2）に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の（3）に示す資質・能力を育成する。		
単位数	2単位			
スクーリング数	8回			
レポート数	6回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	初めての食事・道に迷う	褒める、進める、断る、提案する、依頼する、説明する	通信制教室	筆記用具・教科書
第2回	体調が悪い・買い物	体調を伝える、体調を尋ねる、描写する、相槌を打つ	通信制教室	筆記用具・教科書
第3回	イベントに誘われる	誘う、誘いを受ける、誘いを断る、要約し紹介する	通信制教室	筆記用具・教科書
第4回	待ち合わせに遅刻	謝る、許す、励ます	通信制教室	筆記用具・教科書
第5回	経験談スピーチ	描写する、経験からアドバイスをする	通信制教室	筆記用具・教科書
第6回	遊びやスポーツ紹介	順序だてて説明する、聞き手の知識に合わせて説明する	通信制教室	筆記用具・教科書
第7回	日本をPR	事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明する	通信制教室	筆記用具・教科書
第8回	総復習	街中での会話表現を復習する	通信制教室	筆記用具・教科書

芸術	音楽 I	科目の目標		
担当者		音楽を形づくっている要素の働きについて、実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞に活かすことができる。 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さを自ら味わって聴くことができるようにする。 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
単位数	1単位			
スクーリング数	4回			
レポート数	3回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	ギターおよび鑑賞	ギターの基本的な奏法を習得し、ギターアンサンブルを行う	音楽室	※爪を短く切ってくること
第2回	創作	音楽の要素を理解し、作曲を行う	音楽室	Chromebook
第3回	鑑賞	さまざまな楽曲を通して、それぞれの楽器の良さや美しさを味わう	音楽室	
第4回	創作	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫し、作曲を行う	音楽室	Chromebook

情報	情報 I	科目の目標		
担当者		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。 (1) コンピュータやデータの活用について理解を深め、技能を習得する。 (2) 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
単位数	2単位			
スクーリング数	4回			
レポート数	4回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	情報実習	文書作成ソフト（Word）を用いて、基本的な文書の作成・編集・レイアウト調整を行い、基本操作を習得する	PC教室	筆記用具
第2回				
第3回	情報実習	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を用いて、スライドの作成・デザイン・アニメーション設定などを行い、基本操作を習得する	PC教室	筆記用具
第4回				

家庭	家庭基礎	科目の目標		
担当者		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。 ①生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と技能を身に付ける。 ②問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。 ③様々な人と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実に資する実践的な態度を身に付ける。		
単位数	2単位			
スクーリング数	4回			
レポート数	4回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	調理実習	基本的な調理技術の習得、食文化と生活への理解を深める	食物実習室Ⅱ	エプロン、三角巾、マスク、手拭き
第2回				
第3回	調理実習	基本的な調理技術の習得、食文化と生活への理解を深める	食物実習室Ⅱ	エプロン、三角巾、マスク、手拭き
第4回				

総合的な探究の時間	宗教	科目の目標		
担当者		「いのち」の尊さや他者を大切にすることが育成され、日常生活や学ぶ姿勢に活かすことができるようになる。授業の中では、自分を支える環境や周りの人に対して感謝の意を表し、自己の言動を振り返ることを目指す。また、他者の立場や思いに寄り添う姿勢を養う。		
単位数	3単位			
スクーリング数	3回			
レポート数	3回			
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	宗教	動画を視聴し、内容から考えたことをまとめる	セミナーハウス	筆記用具
第2回	宗教	動画を視聴し、内容から考えたことをまとめる	セミナーハウス	筆記用具
第3回	宗教	動画を視聴し、内容から考えたことをまとめる	セミナーハウス	筆記用具

特別活動	LHR(前期)	科目の目標		
担当者		ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成しね役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び、将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成する。		
単位数				
スクーリング数	5回			
レポート数				
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	オリエンテーション	登校・スクーリング・レポート提出・教材の扱い等について	セミナーハウス	
第2回	課題解決	世の中の問題に対して、解決の糸口の見つけ方を考える	セミナーハウス	
第3回	自己分析してみよう	進路決定のために、様々な視点で自分自身を知る	セミナーハウス	
第4回	非行防止教室	規範意識向上のために、社会問題の観点から学ぶ	セミナーハウス	
第5回	単位認定試験の注意事項	前期単位認定試験の受験上の諸注意(持ち物)について(追・再試験について)	セミナーハウス	レポート一式

特別活動	LHR(後期)	科目の目標		
担当者		ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成しね役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び、将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成する。		
単位数				
スクーリング数	5回			
レポート数				
回	タイトル	内容	場所	持ち物
第1回	避難訓練	地震が起こった時の言動を学ぶ	セミナーハウス	
第2回	夢と進路	進路実現に向けてのモチベーションを上げる	セミナーハウス	
第3回	進路ガイダンス	卒業後の進路全般について考える	セミナーハウス	
第4回	交通安全	交通安全について学び、規律規範意識を高める	セミナーハウス	
第5回	単位認定試験の注意事項	後期単位認定試験の受験上の諸注意(持ち物)について(追・再試験について)	セミナーハウス	レポート一式